

## 保護者の皆様へ

保護者の皆様におかれましては、日頃より本学の教育に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。また、このたびの新型コロナウイルスの感染拡大による本学の対応につきましても、ご理解やご支援をいただき、心より深く感謝申し上げます。

本学は、7月28日をもって前期の正規授業を終了し、以後、9月末日まで試験・補講・集中講義を実施いたします。つきましては、この時点で、ここに至るまでの経過ならびに講じた対応についてご報告申し上げます。

全体的な対応については、特命担当学長補佐2名を起用するとともに、学長をトップとする緊急事態等対策本部を設置し、これまで40回にわたる会議を重ね、学生の健康・安全・安心を第一とする対応を図って参りました。また、「新型コロナウイルス感染症に対する学生ならびに教職員の行動指針」や「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応マニュアル」等を作成し、時々の社会情勢に即して改訂を重ね、学生及び教職員への注意喚起を徹底いたしました。これらは本学ホームページにも掲載しております。

授業やゼミについては、入学式から5月6日までを、それ以後の準備のための休講期間としました。5月7日から6月14日までは、全てをオンラインやオンデマンド型による非対面授業とし、それ以後は、原則非対面授業としつつ、季節性に関わるなどのやむを得ない理由による実験や、卒業論文、修了論文、学位研究報告書の作成に関わる研究等、一部授業を対面で実施しております。このように、社会情勢に即しながら、少しずつ慎重に緩和をして参りました。

非対面による授業や試験の方法については、教職員が3回の研修を積み、できるだけ学生に負担がかからず、通常と等しい学びや適切な評価が保証できるよう努めました。また、学生の自宅や下宿における通信環境やパソコン等の所有状況の把握に努め、状況の差による学びの不公平性が生じぬよう、適宜、学内のパソコンルーム等を開放したり、教材を郵送したりするなどの配慮を行いました。

さらに、対面授業においては、行動指針に即し、使用教室や授業実施形態等、感染防止対策に万全を尽くして実施いたしました。また、オンライン授業が少しでも楽しくなるよう、学内の様々な場所で授業を受けているように見せることのできる「オンライン授業用バーチャル背景」を作成しました。これは新聞やネットで取り上げられ、話題を呼びました。あらためて、慣れないオンライン授業に対応してくれた学生に感謝いたします。

教員採用試験等の就職支援については、就職支援室と3名の就職相談員を中心に対策を検討し、工夫を重ねて実施しております。就職相談員との相談、個人面接練習、集団面接練習、小論文添削、実技指導等、これらはほとんどオンラインで実施しました。教員採用試験が迫った6月からは、希望する学生の登校を認め、安全な環境を設定して、試験のための学習や練習を許可しました。また、就職についての重要な情報やアドバイスを提供するため、ホームページのトップに「就職応援ポータルサイト」のバナーを設け、随時更新を行っております。就職試験は今後も続きますが、引き続き、通常と変わらぬ支援を実施いたします。

教育実習については、6月の実習は全面中止といたしました。今後の実習については、本学附属学校園や母校等の実習先の状況に即して実施いたします。現時点では予定通りに行いますが、実施開始日前の二週間は実習校のある地に待機し、体温や行動を記録させ、健康を確認した上で行うこととします。教育実習は教員養成大学として、また教員免許取得のために大変重要な履修科目です。どうかご理解いただきたく存じます。

サークル活動等の課外活動は現在も全面中止とし、11月の大学祭も大学祭実行委員会が慎重に検討した結果、やむを得ず中止といたしました。サークル仲間や友人との交流ができないことについては、学生自身、相当なストレスがかかっていることと思われませんが、昨今、大学の課外活動を起因とする感染が見られ始めていることに鑑み、今しばらく辛抱していただきたいと思います。なお、課外活動は学生の自主的な活動であることから、制限の緩和については、学生と大学とで十分な話し合いのもと、検討して参ります。

学生の経済的支援については、国の学生支援緊急給付金制度に基づき、条件を満たした学生については、10万円または20万円の支給がなされました。また、本学独自の支援として、皆様からのご寄附による「奈良教育大学未来を育む基金『新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急学生支援金』」を活用し、希望者のほぼ全員に一律2万円を支給いたしました。ご寄附いただいた保護者の皆様には厚く御礼申し上げます。

メンタル及びフィジカル面のサポートについては、随時、本学保健センターが対応しております。また、学生同士でサポートしあったり情報交換をしたりすることができるサイトも設けました。困ったことがあったら、是非これらを活用するよう、お伝えください。

さて、すでに7月16日付けのホームページで情報提供いたしましたでしたが、本学の学生一名が、新型コロナウイルスに感染いたしました。しかしながら、ここで情報提供しておりますように、

当該学生は、感染防止対応を怠ったわけでもなく、対面授業も履修しておらず、学内への入構は事務手続きのために数分間のみであったことが確認されており、現在は回復しております。もちろん、学内が感染源ではなく、学内の濃厚接触者もおりませんのでご安心ください。また、皆様におかれましては、以上の事実を正確にご理解いただくとともに、ご本人やご家族の人権尊重・個人情報保護にご理解とご配慮をお願いいたします。

最後になりますが、昨今、首都圏や奈良県も含む近畿圏、さらには全国的に、第二波ともいえる感染状況が報じられております。本学は引き続き、教職員はじめ全学生に対し、また学内における感染防止の徹底に努めて参ります。

このコロナ禍の終息には、さらに長い日数がかかるものと思われれます。10月からの後期授業については、Withコロナとしての大学の教育活動はどうあるべきかを考え、半年以上も大学に来られない不安と、通学することの不安とを、ともに適切なバランスを保ちながら解消できるよう、検討していく所存です。

保護者の皆様におかれましては、お子様に対するご心配はお察しいたしますが、やがて教員として、そして社会人として巣立つ大人として信頼し、自律的な判断や行動を支援していただきたく思います。

学習面、生活面等の相談は、いつでも教務課、学生支援課、保健センター等で対応いたしますので、遠慮なく連絡するようお子様にお伝えください。

コロナと人間との戦いは、しばらく続くと思われれますが、私たちは負けるわけにはいきません。この未知のウイルスに対する科学的研究を進め、また、どのように三密を回避するか、どのように助け合うか、何よりもエビデンスに基づいてしっかりと考えねばなりません。このような時に必要とされる力は、全て自らの学びの中で「教育」によって育まれた「力」であり、コロナと人間の戦いは、まさにウイルスと「教育」の戦いであると言っても過言ではありません。

「教育」を探究しそのより良き実践を目指す若人、「教育」の力で持続可能な社会を築きあげていく若人を、どのような状況にあっても最大限に支援していくことこそが本学の使命だと考えております。どうぞ、今後とも、本学に対するご理解・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和2年7月29日

奈良教育大学

学長

加藤 久雄